

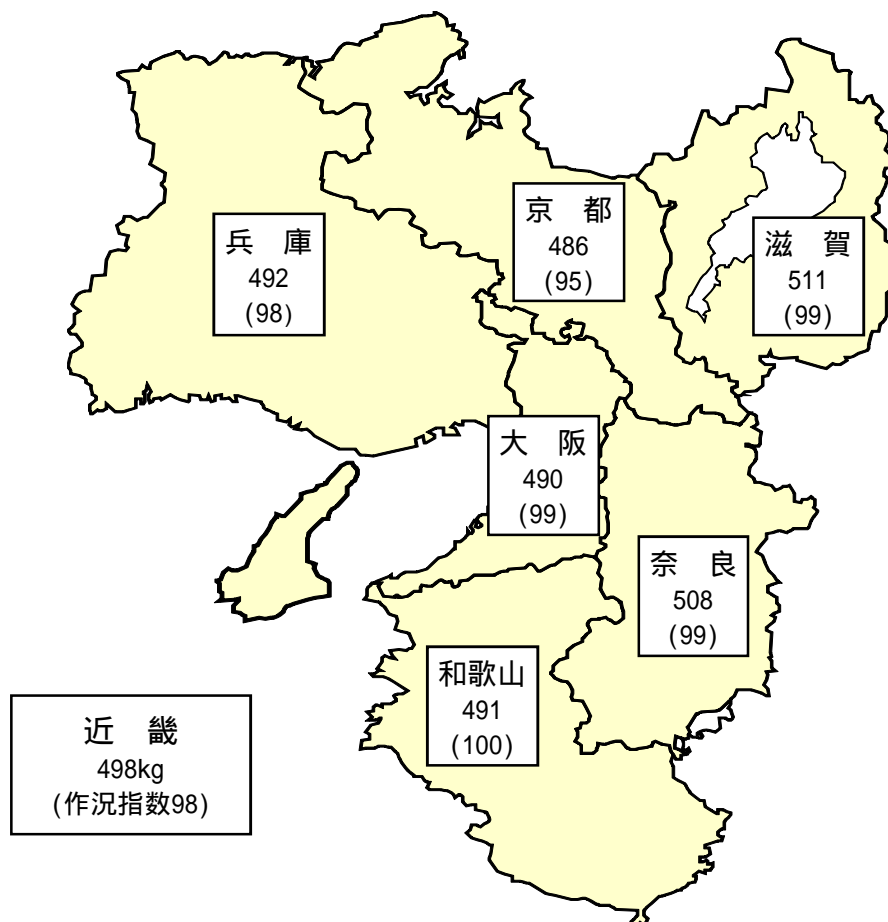
## 平成21年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況 (近畿)

— 水稻の作付面積(青刈り面積を含む)は、11万800haの見込み —  
10a当たり予想収量は498kg(作況指数98)の見込み

### 【調査結果の概要】

- 1 近畿における平成21年産水稻の作付面積(青刈り面積を含む)は、11万800haが見込まれる。
- 2 9月15日現在における近畿の水稻10a当たり予想収量は、498kg(作況指数98)が見込まれる。

図 府県別10a当たり予想収量(9月15日現在)



この統計調査結果は、以下のアドレスからご覧いただけます。

[\[http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/mn/sakutuke/index.html\]](http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/mn/sakutuke/index.html)

この統計調査における調査の目的、調査の対象などは、【調査の概要】P3に掲載しています。

## 【調査結果】

- 平成21年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は11万800haで、前年に比べ300haの減少が見込まれる。
- 9月15日現在における水稻の作柄は、7月以降の日照不足の影響により、穂数が「平年並み」～「少ない」となったため、もみ数は「平年並み」～「少ない」となり、登熟は、8月中旬以降多照に経過していることからおおむね順調で、「平年並み」ないし「やや良」と見込まれることから、近畿の10a当たり予想収量は498kg（作況指数98）が見込まれる。

府県別では、滋賀県の10a当たり予想収量は511kg（作況指数99）、京都府は486kg（同95）、大阪府は490kg（同99）、兵庫県は492kg（同98）、奈良県は508kg（同99）、和歌山県は491kg（同100）が見込まれる。

第1表 平成21年産水稻の作付面積及び9月15日現在の10a当たり予想収量（作況指数）

区分	作付面積 (青刈り面積を含む)		10a当たり 予想収量	(参 考)			
	ha	対前 年比 %		主食用作付 見込面積	予想収穫量 (主食用) = x	10a当たり 平年収量	作況指数 = /
近 畿	110 800	100	498	109 400	544 800	508	98
滋 賀	33 300	100	511	32 700	167 100	518	99
京 都	15 800	100	486	15 700	76 300	511	95
大 阪	5 840	100	490	5 840	28 600	493	99
兵 庫	38 800	100	492	38 200	187 900	504	98
奈 良	9 350	98	508	9 310	47 300	513	99
和 歌 山	7 650	99	491	7 650	37 600	493	100

注：1 青刈りには、稲莠粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。

2 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む)から、生産調整カウントとなる米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。

第2表 平成21年産水稻の作柄概況及び刈取済面積割合（9月15日現在）

区分	出 穂 最 盛 期	平年比較	穂 数 の 多 少	1穂当たり もみ数の 多 少	全もみ数 の 多 少	登 熟 の 良 否	刈 取 済 面 積 割 合
滋 賀	8月 2日	並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	48
京 都	8月 8日	並み	少ない	平年並み	少ない	平年並み	34
大 阪	8月23日	1日遅	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	7
兵 庫	8月12日	1日早	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	35
奈 良	8月23日	並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	13
和 歌 山	8月 8日	並み	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良	41

注：出穂最盛期は、出穂済面積割合が50%に達した期日である。

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稲調査の中の作柄概況調査として実施し、水稲の作付面積、生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としている。

### 2 調査対象数

#### (1) 作付面積調査

標本単位区：3,060単位区 巡回・見積り：205市町村

#### (2) 作柄概況調査

作況標本筆：840筆 作況基準筆：50筆 巡回・見積り：205市町村

### 3 調査事項

水稲の作付面積、は種期の遅速、田植期の遅速、活着の良否、草丈の長短、茎数の多少、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況、耕種状況。

### 4 調査期間

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 作柄概況調査：9月15日現在

### 5 調査方法

#### (1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。

#### (2) 作柄概況調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

### 6 集計方法

#### (1) 作付面積調査

対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。

#### (2) 作柄概況調査

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆調査結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

### 7 用語の解説

(1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料用などとして用いられるものである。

なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。

(2) 「穂数の多少」とは、1㎡当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

(3) 「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

(4) 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

- (5) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (6) 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たりの穂数等）の平年値との比較である。

多 少 (良 否)	少ない (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多 い (良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

- (7) 作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率である。
- (8) 10a当たり平年収量とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいう。

#### 8 利用上の注意

- (1) 本調査（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄が変動することがある。
- (2) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原数	7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1000)	3けた以下 (100以下)
四捨五入するけた (下から)	3けた	2けた		1けた	四捨五入 しない
例					
四捨五入する前 (原数)	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
四捨五入した数値 (統計数値)	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

#### 問い合わせ先

##### 本統計調査結果について

近畿農政局 統計部 生産流通消費統計課 生産統計第2係

電話：(代表)075(451)9161 内線2653 (直通)075(414)9650

##### 農林水産統計全般について

近畿農政局 統計部 統計企画課 企画係

電話：(代表)075(451)9161 内線2623 (直通)075(414)9620



#### 2010年世界農林業センサスを平成22年2月1日現在で実施します。

農林業センサスは農林業の生産・就業構造、農山村の実態を総合的に把握するため、一定規模の農林業を営まれている方等を対象に5年ごとに行う調査です。調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページ： <http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/>

お問い合わせ先：近畿農政局統計部経営・構造統計課(TEL 075-414-9630)